

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : グループホーム こせん

作成日 : 平成25年12月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2(2) 49(18)	少しずつではあるがホーム内外の余暇活動(行事のイベントや外出行事)への取り組みが可能となってきたが、その反面利用者の認知症・身体的障害の重度化も目立ってきているのが現状である。ホームの中でも外部からの来訪により、外出先と同様な触れ合いが出来るような取り組みをしたい。	地域の方々が気軽に来訪され入所者の方々とおしゃべりや触れ合いのできる環境作り。	負担のないゆったりとしたペースで、ご近所様や近隣の皆様に足を運んで頂けるようお茶のみ(縁側での井戸端会議)へのお誘いをし、お顔合わせを重ねながら少しずつホーム内のイベントなどへも来訪頂けるように繋げていく。	12ヶ月
2	37 48 50	数名の方はお金を持たれてはいるも「使う」迄の支援には至っていないのが現状である。	アクティビティを通し実勢にお金の使用に至る支援。	スーパーでの買い物支援に向け現在の物価に応じた買い物の模擬体験を、模擬貨幣・ポイント制の活用等レクリエーションの中で個々の能力に応じ活性化に繋げる。	12ヶ月
3	50	生活の中で地域に出向いた際に品物を購入する機会はあるも、利用者自身がお金を使うという行動に至っていない現状がある。	外出先で個々に応じたお金を使う支援。	地域や近隣イベントへ外出支援の折には実際にお金を「使う」支援を行い社会での当り前の生活に繋げたい。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。